



令和5年(2023年)年頭のあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、夢と希望に満ち溢れた令和5年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より、市政の運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も猛威を振るった新型コロナウイルス感染症により、本市を含め観光産業を柱とする八重山の経済は大きな打撃を受けました。しかしながらワクチン接種の推進等市民皆様のご理解ご協力により、コロナ禍からの脱却に向けた兆しが見えつつあります。引き続き、感染症対策へのご協力をお願いいたします。

さて、昨年を振り返りますと、石垣第二中学校の郷土芸能部が全国中学校総合文化祭に出場し、堂々とした演技を披露してくれました。また、八重山高校空手部とカラーガード部が全国大会へ出場、ソフトテニス部は男女揃って九州大会へ出場したほか、八重山商工高校が沖縄県高校ロボット競技大会で3連覇を達成し、全国大会への出場を果たしました。そして石垣第二中学校マーチングバンド部が、12月10日に開催されたマーチングバンド全国大会で見事金賞に輝き、トップの最優秀賞を獲得する快挙を成し遂げるなど、文武にわたる中高生の活躍が多数ありました。

全日本選手権ロードレースでは、新城幸也選手が優勝、新城雄大選手が2位に入り、石垣市出身ロードレーサーが国内最高峰のレースで1・2フィニッシュを飾る快挙を達成しました。また、埼玉西武ライオンズの平良海馬投手は今シーズンも圧巻のピッチングを披露し、「最優秀中継ぎ投手」のタイトルを獲得するなど、多くの市民に夢と希望を与えてくれました。

市政に目を向けますと、昨年石垣市は市制施行75周年の節目を迎えました。これまで先人が築いてきた今日の発展に感謝し、今後より一層市民一人ひとりが輝ける石垣市となるため、市民皆様と平和で豊かな自然文化都市づくりを進めてまいります。また、一昨年に完成しました新庁舎も供用開始から1年余りが経ち、昨年にはこの新庁舎が2022年のグッドデザイン賞を受賞することができました。この新庁舎が市民の皆様にも愛されるよう、より質の高い市民サービスを提供してまいります。

昨年は石垣島まつりが3年ぶりに入場を制限しない通常開催となり、うたの日コンサートも併せて盛大に開催されました。パレードにも多くの皆様にご参加いただき、沿道は多くの市民で賑わいました。これまで、コロナ禍において多くの行動が制限されてきましたが、今後は脱コロナ、ウィズコロナを見据えた生活様式へと変化していく必要があると考えています。コロナ対策を万全にした上で、経済回復を積極的に推し進めてまいります。

本年も、医療・福祉・教育・子育て支援等の充実はもとより、離島が抱える課題解消に向け、先導的な事業の実施・展開を図り、活気と魅力に満ちた「日本一幸せあふれるまち『石垣市』」を目指し取り組んでまいります。市民皆様のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、市民各位の益々のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

令和5年 元旦

石垣市長 中山義隆